

九州

◇ 福岡支局 ◇
福岡市博多区中
洲中島町3-10
福岡県消防会館
☎092(271)2708
FAX092(271)2878

中津市（奥塚正典市長）は10月、国のコロ

中津市

3地区体育館を強靱化

自立型GHP 災害対策バルク コロナ交付金で導入

交付金を活用し、市内3地区の体育館に電源自立型GHP2基と災害対応バルク1基を導入した。大分県LPガス協会が進めてきた公共施設への常設提案が実った。熱中症対策と災害強化の両面からLPガスの役割に期待がかかる。

市の担当者は「平時は 調稼働を想定している。一般的な室内競技時の空 災害時は公民館など従来

中津東体育館、禅海ス
ポーツセンター、やまく
にスポーツパークの3カ
所で10月1日に稼働開始
製、他の2カ所がヤンマ



ーエネルギー
システム製。
室内機は共通
で4台×2ラ
イン。バルク
貯槽はすべて
I・T・O製
タテ型（50
0キタ）。

中津東体育館の災害設備。電源自
立型GHP（20馬力）2基、災害
対応バルク（500キタ）1基を
備え室内機は4台×2ライン

導入に当た
り地方公共団
体向けの「新
型コロナウイ
ルス感染症対
応地方創生臨
時交付金」を
活用した。

の一次避難所では三密が避けられないため、既存の体育館を新たに避難所に指定し、コロナ交付金で災害対策を強化した。災害の規模に応じ二次避難所として段階的に開設する」と説明。「3カ所とも土砂災害や津波のハザードマップから外れた立地で都市ガスのエリア外。停電の懸念からLPガス空調を採用した。災害対応バルクを使った炊き出しができ、GHPは電源自立型なので停電しても空調のほか照明や充電などに利用できる」と期待を示した。